

## 平成29年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立小山台学校 学校運営連絡協議会（全日制制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、庶務・広報部主任、経営企画室長 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長〔協議会会長〕、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主任）、主幹教諭（生徒部主任）、主任教諭（進路部主任）、主幹養護教諭（保健部主任）、主任教諭（庶務・広報部主任） 計8名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
大学教授（学識経験者）、教育研究所副代表（卒業生保護者代表）、同窓会副会長（卒業生代表）、公益財団法人事務局長（関係団体代表）、品川区立中学校長、大田区立中学校長、品川区立小学校長（以上近隣小中学校長3名）、PTA会長〔協議会副会長〕、PTA副会長（以上保護者代表2名） 計9名

### 2 平成29年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1回～第3回）の開催日時、会場、出席者、主な議題等
  - ＜第1回＞平成29年7月5日（水）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員7名、内部委員・事務局8名  
（主な議事）協議委員の委嘱及び自己紹介、学校経営概要説明、校務運営状況及び平成29年度1学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、評価委員選出、意見交換・協議
  - ＜第2回＞平成29年11月22日（水）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員7名 内部委員・事務局9名  
（主な議事）校務運営状況及び平成29年度2学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、平成29年度学校評価アンケート実施方法及び内容について、意見交換・協議
  - ＜第3回＞平成30年3月6日（火）午後3時30分から午後5時まで 校長室にて  
（出席）外部委員9名、内部委員・事務局8名  
（主な議事）校務運営状況及び平成29年度3学期教育活動報告、校務分掌各部からの報告、平成29年度学校評価アンケート集計結果と今後の学校評価の集約について、学校評価に対する意見交換、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - ＜第1回＞平成29年7月5日（水）午後3時から3時30分まで 校長室にて  
（出席）外部委員1名、内部委員2名  
（主な議事）評価委員長候補の選出、昨年度学校評価結果の分析・考察、今年度学校評価実施予定確認・内容検討、協議
  - ＜第2回＞平成29年11月22日（水）午後3時から午後3時30分まで 校長室にて  
（出席）評価委員1名、内部委員2名  
（主な議事）学校評価の観点・項目、学校評価アンケートの内容・質問文の検討、実施時期の確認
  - ＜第3回＞平成30年3月6日（火）午後3時から午後3時30分まで 校長室にて  
（出席）外部委員2名、内部委員・事務局2名  
（主な議事）学校評価アンケート集計結果の確認、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点及び評価項目等
  - ・「授業等の学習に関すること」「学校生活に関すること」「学校の実践に関すること」について、教職員、生徒、保護者、地域関係者の回答を比較できるように設問の内容をそろえて実施した。
  - ・経年変化を見るため基本的に前年と同様の項目としているが、「授業等の学習に関すること」については、一部の質問を修正した。
  - ・回答方式は前年度に引き続きマークシート方式とした。
  - ・評価項目は、授業、教科間連携、学習指導、学校生活、進路情報、生活指導、行事、部活動、国際交流、施設・設備、情報公開、満足度、学校運営、いじめ、体罰などについて21項目である。

(2) アンケート調査の実施時期、回答数／対象、回収率

- ・ 12月中旬 全校生徒 947人／950人 回収率：99.7%
- ・ 12月下旬 保護者全員 795人／950人 回収率：83.7%
- ・ 12月中旬 地域・住民 159人（前年より17名増）
- ・ 12月下旬 教職員 62人／62人 回収率：100%

(3) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

○学習活動、指導体制について

- ・ 授業に関する項目では、教員と生徒、保護者の肯定的回答の割合に1割程度の差が見られた。
- ・ 授業に関する項目では、地域と生徒、保護者の肯定的回答の割合に2割程度の差が見られた。
- ・ 教科間連携の項目では、教職員、生徒、保護者とも肯定的回答が6割以下であった。

○学校生活について

- ・ 生活指導の項目では、教職員、生徒とも2割程度が否定的回答であった。
- ・ 行事や班活動の項目では、教職員、生徒、保護者、地域とも肯定的回答が9割を超えている。

○その他

- ・ 施設設備の項目では、教職員、生徒、保護者は4割以上が否定的回答であった。
- ・ 情報公開の項目では肯定的回答の割合が低く、特にHPについては否定的回答が3割弱あった。
- ・ 満足度に関する項目では、教職員、生徒、保護者とも概ね9割が肯定的回答であった。

○記述式意見

- ・ 記述式意見の数は300件（教員8件、生徒70件、保護者192件、地域30件）であった。
- ・ 教員、生徒、保護者からの意見（270件）の内訳は、授業に関する意見（46件）、学校生活に関する意見（44件）、施設に関する意見（41件）、災害時の対応に関する意見（18件）、進路指導に関する意見（17件）、HP充実に関する意見（9件）、その他（88件）であった。

(4) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

○学習活動、指導体制について

- ・ 課題量や授業の楽しさなどの改善を進めてほしい。授業については、改善に向けての具体的方策を検討すべきである。他人の授業を見ることも大いに参考になる。
- ・ 学校評価アンケートのQ3の教職員間の連携については、聞き取りをするなどさらなる分析が必要ではないか。

○学校生活について

- ・ スマートホンの利用が大学でも問題となっている。自分で考えようとせず、すぐに検索してしまう。自分で考えることのできる人材を育成したい。
- ・ 自転車の転倒事故については、品川区の小学校では、ヘルメット着用が義務付けられている。自転車通学のヘルメット着用を進めてほしい。

○情報発信について

- ・ 台風の時の連絡では、HPのサーバが落ちて大変だった。更新の判断、早さなど、情報伝達の方法を工夫してほしい。
- ・ 記述式意見には、HP充実、改善を求める声が多かった。

○学校評価について

- ・ 学校評価アンケートは、肯定的な部分もある。さらなる改善を進めるためには、アンケート項目を考えることも大切である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- 進学指導特別推進校として、生徒、保護者、地域（近隣中学校等）の進学指導の充実に対する期待に応えるため、更なる学習環境の充実、授業改善、生活指導の取組、キャリア教育の充実、進学実績の向上、教育課程の見直しなどについて、組織的・体系的に実践していく必要性を改めて認識できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 学校の特色化を一層鮮明に打ち出すことが、中学生やその保護者にとっての高校選びの明確な指標と考え、国公立大学への進学を目指す学校として広報活動を充実させてきた。ホームページなどをさらに活用して、学校の取組を生徒・保護者・地域等にわかりやすく公開するとともに、安全対策や災害時の情報発信等、地域や保護者のニーズに素早く対応する組織的体制が必要であると認識した。
- 学習と班活動・学校行事等との両立は、本校の生徒指導の根幹に関わるものであり、高いレベルで実現するうえで、授業に関する改善が急務であり、課題量の調整や教員間の相互授業観察等、教科間の連携を密にし、組織的な取組を進めることが重要であることを認識した。

## 5 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | あまりそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|-----------|--------|-------|-----|
| 3    | 3      | 0         | 0         | 0      | 0     | 3   |

- ・委員全員が真摯に発言しており、それを学校サイドも真剣に受け止めている。
- ・部活動、行事、将来に対して有益等の項目の徒評価が高まっていることは成果と考えます。なにより、自主的に考える傾向が向上しているのは指導方法の工夫と考えます。
- ・「自分の子供は小山台に入学させて良かった」という保護者は、27・28・29年度とも9割を超えほぼ変わらない。加えて「自分は小山台に入学してよかった」という生徒は、27・28・29年度で81%→83%→88%と増加しており、いろいろな意見はあったとしても、総合的には学校がよくなっていると判断できる。
- ・肯定・否定の割合を見ると総じて高評価であり、全体としてレベルは高いと思われるが、保護者のA評価が下がっている項目が見受けられることが気になる点である。
- ・生徒さんたちは大変礼儀正しく、感心しています。大人の立場からは安心なのですが、反面、生徒さん自身が自分に縛られ自由度が少なくなっているのではないかと感じています。小さくまとまっていけないか、気掛かりです。
- ・いつも丁寧に資料と各担当者からの説明に、教員組織が安定しているのだと思っています。「よくなった」というアピールを、各担当者からしてもらえると、もっとうれしいです。

## 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし

## 8 その他

- ・さらなる改善に向けて、評価項目の再検討を行うことも考える。